

## Q. 線量計の使用状況を示せ

### A. 村内2カ所の測定結果をホームページで公表している

伊藤秀樹 議員

Q

あの悲惨な、東日本大震災が発生してから2年がたちました。あの時のことは今でも昨日のこのように鮮明に覚えています。釣り船に乗っているような、気持ち悪い揺れが長く続いたのは忘れることが出来ません。

被災地の方々はいまだに避難所生活が続いており、早く普通の生活に戻れることを願うばかりです。

特に、放射能の汚染地区の方々はいつ帰れるかも分からず、場所によっては、数十年は帰れないのではと言われ、気の毒でなりません。

飛鳥は被災地にボランティアを派遣するのを機に線量計を購入しました。飛鳥のホームページを見ると昨年5月と11月に役場と公民館分館2カ所の計測結果が出ています。

あの悲惨な、東日本大震災が発生してから2年がたちました。あの時のことは今でも昨日のこのように鮮明に覚えています。釣り船に乗っているような、気持ち悪い揺れが長く続いたのは忘れることが出来ません。

被災地の方々はいまだに避難所生活が続いており、早く普通の生活に戻れることを願うばかりです。

特に、放射能の汚染地区の方々はいつ帰れるかも分からず、場所によっては、数十年は帰れないのではと言われ、気の毒でなりません。

飛鳥は被災地にボランティアを派遣するのを機に線量計を購入しました。飛鳥のホームページを見ると昨年5月と11月に役場と公民館分館2カ所の計測結果が出ています。

飛鳥は被災地にボランティアを派遣するのを機に線量計を購入しました。飛鳥のホームページを見ると昨年5月と11月に役場と公民館分館2カ所の計測結果が出ています。

#### 放射線測定値について(村測定)

##### 測定結果

飛鳥村では東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けて、独自に空間放射線量(ガンマ線)を測定しています。測定結果については次のとおりです。

測定日時	天気・気温	飛鳥村役場		公民館分館	
		地上から10cm	地上から100cm	地上から10cm	地上から100cm
平成24年5月23日 午前	晴れ・23℃	0.068	0.058	0.061	0.069
平成24年11月21日 午前	晴れ・6.2℃	0.101	0.079	0.046	0.044

※機器により値が変動します

##### 測定概要

測定場所  
飛鳥村役場：飛鳥村竹之郷三丁目1番地  
飛鳥村公民館分館：飛鳥村木場二丁目3番地

測定者  
村職員

測定機器  
TCB-172B

測定方法  
地上から10cmと100cmの高さで、5秒ごとに12回測定をし、その平均値としました。

測定値  
μSv/h(マイクロシーベルト毎時)

#### 村ホームページより

果については、ホームページに掲載していますが、他の測定箇所については、昨年の4月下旬に村内の公園や学園等住民が集まる施設を10カ所測定しました。

#### 村長

A

線量計は平成23年度末に購入し、

平成24年度から年2回役場駐車場と臨海部の公民館分館駐車場で、それぞれ地上10センチメートルと1メートルの高さで測定をしています。測定結



線量計

## Q. TPP協定への参加に反対せよ

### A. 国への働きかけを検討していく



橋本 涉 議員

**Q** TPPは太平洋を囲む十一カ国で、

物やサービスの貿易、さらに人やお金などの移動の制限をとりはらい経済の協力を強める協定です。そこに日本も参加しようとしています。

農作物に税金がかからなくなればアメリカなどから安い農作物が入り、日本の米の生産は90%がなくなり大変なことになります。食料自給率は13%まで低下すると言われています。

また、外国の保険会社などが入り国民皆保険制度が壊される恐れがあります。

外国人の労働者も自由に入ることが、できるようになります。

日本のあり方が変わってしまい大変なことになります。

飛鳥村の農業もつぶれてしまいます。

TPP協定には飛鳥村も反対すべきです。

#### 村長

**A** 国のTPPへの参加は、関税の撤

廃により貿易の自由化が進み製品の輸出入が増大し経済の活発化を促す一方で、海外の安価な商品が数多く流入することで、国内生産の減少、国内自

給率の低下、雇用環境の悪化などが懸念されています。

しかし、本村は北部の農村地域と南部の工業地域の2面性をもっています。

南部地域の企業にとっては、自由貿易や規制緩

和により輸出の増加が見込まれば、国内市場だけでなく海外市場にも製品シェアを拡大することができ、経済活動が活発になれば、雇用の機会や生産性が向上するなどのメリットも予想されます。

一方、本村北部の基幹産業でもある農業分野においては、TPP参加により関税が撤廃されると、海外の安い輸入農産物の流入に押され、国内の農産物の消費量が減少し、

また、輸入される農産物や食品関連についても、薬品や食品添加物などの検査項目や安全基準などが緩和され、食品に対する安全性にも影響を受けることが懸念されます。

安倍首相のTPPへの参加表明は「農産品の関税維持を目指す」と言われ、聖域なき関税撤廃でない旨の見解を示されました。

村としても農業を守ることから、TPPへの参加は十分検討されることを望み、国への働きかけを検討していきます。

さらに食料自給率が大きく低下し、減反政策や戸別所得補償制度のもとにおいても農業経営は立ち行かず、多くの農家や関連産業が壊滅的な打撃を受けることが予想されます。

また、輸入される農産物や食品関連についても、薬品や食品添加物などの検査項目や安全基準などが緩和され、食品に対する安全性にも影響を受けることが懸念されます。



TPP交渉に大きな波紋



給食

## Q. 小中学校の給食費を無料化せよ

### A. すぐに導入することに疑問を感じている

橋本 渉 議員

Q

学校給食費の無料化は少子化対策など子育て世代の経済的負担を軽くするため実施されようとしています。

東海三県では岐阜県岐南町が実施しています。

国の法律では義務教育費は無償とすると言われているので給食費も無料化すべきです。

飛島村は日本一豊かな財政を持つ村と言われているので愛知県内で一番に実施すべきです。

村長

A

小学校は、1食あたり260円、

中学校は、1食あたり300円の給食費を徴収しています。この給食費は海部地区における他団体と比較しても、決して高い水準ではありませんが、村は月額600円の補助金を支出し、保護者の負担軽減に努めています。

ます。

実質的な保護者の負担金は、海部地区の小中学校の平均とほぼ同じレベルであり、本村の給食費の妥当性は一定程度確保されていると考えています。

さて、少子化対策のために給食費を無料にという議員のご指摘ですが、既に他の団体でも同様の取り組みが見られます。しかし、少子化対策として、すべての自己負担を

無料化することは、一部受益者負担という考えから、私としては、すぐに導入することに疑問を感じています。もちろん、昨今の経済状況から子育て世代の家計は厳しいものがあると考えていますので、私どもとしては18歳までの医療費無料化にとどまらず、出産祝金や就学祝金を他市町村に先駆けて導入する等、保護者世代の家計の一助になりますようお願いいたします。

さらに、少子化対策は、安全で安心な村づくりが必要であり、飛島学園や通学路といった施設整備をはじめ、防犯対策等の地域での取り組みを総合的に推し進めているところです。

## Q. 津波による浸水予測の見直しを

### A. 地域の方々との協議し、使いやすい施設を建設する



鈴木義男 議員

村の津波避難ビル計画の根本である

津波による浸水予測ですが、防潮堤、海岸堤、河川堤について機能をしないことを前提として計画しています。

つまり巨大地震で防潮堤、海岸堤、河川堤がすべて壊滅し、丸裸にされた状況を想定しています。しかし、防潮堤はとも



カ所

橋梁被害が56カ所

山崖崩れ136カ所

堤防決壊4カ所

鉄道線路破損26カ所

となつています。

道路損壊の2千126

カ所、また山崖崩れ13

6カ所と比較しても地震

による堤防崩壊は、たつ

たの4カ所です。堤防崩

壊は非常に少ないのです。

この資料でみるように

地震による海岸堤、河川

堤の崩壊の可能性は低い

と言わざるをえません。

現在の飛島村の海岸堤

は、昭和34年の伊勢湾台

風当時の海岸堤ではあり

ません。伊勢湾台風の被

害を教訓に築堤された海

岸堤であり、その後も補

強に努めてあります。

しかも海岸沖は干拓さ

れ工業団地として造成さ

れ、旧村内にとつては、

防波堤の役目もしていま

す。

また、日光川の河川堤

についても平常時の水位

1メートル上までは鋼矢板が打ち込んで補強してあります。

地震により鋼矢板と共

に河川堤が崩壊すること

は、私には考えられませ

ん。

海岸堤は波返しの高さ

で6・5メートルありま

す。津波の最大高が4

メートルと報道されてお

り、この海岸堤を乗り越

えて村内に浸水する可能

性はないと思います。

伊勢湾台風当時の環境

ではありません。

村長はじめ幹部職員

の行動は、津波に対してあ

まりにも過剰反応ではな

いか。

過去に伊勢湾内での津

波被害はあったのか。

私は聞いたことがあります。

私に聞いただけでござい

ません。

地震に対しての被害、

津波に対しての被害を

別々に考えるべきと思

います。

以上の事由から、現在

計画が進められている津

波用の巨大な避難ビル8

カ所が本当に必要か。

村民の生命を守るため

に必要という大義名分を

盾に反対意見を抑え、莫

大な費用で建設されよう

としています。

財政が豊かな村とはい

え、無用の長物になりか

ねない施設を費用対効果

も考えず建設してもいい

のか。

日常利用できる施設と

併用できる避難ビルに見

直すべきではないか。

またありがたいことに、

体育館、学園等々利用で

きることはあります。

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

また40億円という莫大

な財政を投入することは、

村民に対する背任行為で

はないか。

村会議員の皆さんにも

聞きたい。30年先、50年

先には村民から、こんな

バカげた建物を建てた村

長は誰だ、議員は誰だと

笑われる時が来ます。

現在でも避難場所は、

旧中学校、中央公民館、

体育館、学園等々利用で

きることはあります。

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

またありがたいことに、

津波は渥美半島へ来てか

ら60分から80分程時間が

あります。避難する時間

の余裕もあります。渥美

半島にきた津波が大きけ

れば避難すればよいので

す。

私は津波災害よりも地

震災害の住宅倒壊及び住

宅火災の発生による人的

被害から村民の生命を守

る対策の方が重要課題で

はないかと思ひます。

現在の避難ビル計画の

8カ所は見直しをお願い

したい。

## 村長

**A** 昨年8月29日に

内閣府が発表しま

した、南海トラフ巨大地

震の想定は、地震の規模

をマグニチュード9・0、

地震・津波の予想として、

「震度7、名古屋港の津

波は4m、液状化はほぼ

全域で発生する」となっ

ていて、本村が東海・東

南海・南海の三連動地震

でシミュレーションを委

避難所案内板



託しました予想より大きくなっています。この発表を受け、本村としては、防災アドバイザーとして委嘱しております名古屋大学の准教授にも意見を求め、予想・想定として内閣府の出したデータを基に進めることを決定して、一時避難所建設計画や津波避難計画等を進めてきました。

なお、先日、内閣府から見直した被害想定が発表されましたので早急に検証させていただきます。

また、愛知県としても、県内の被害想定等の作業を進めています。本年5月末に防災会議で示すとのことですので、その後には検証させていただきます。

次に一時避難所建設計画については、平成25年度から3年計画で国から交付金を受け、旧中学校校舎の改築と村内全域の8カ所に一時避難所の建設を予定しています。平

成25年度は、4カ所の設計業務と旧中学校校舎の改築、1棟の一時避難所の建設を計画しています。

一時避難所建設の概要としては、地上3階建てもしくは4階建てで、集会施設を兼ね備え、防災訓練や防災に関する研修等ができる施設とし、基本設計の段階で地域の方々

と協議をして、使いやすい施設を建設したいと思っています。



輪中堤プロムナード

## Q. 公園等の管理は

どのように行われているのか

### A. 快適に利用できるよう維持管理と整備をしていく

どのように行われているのか。子供たちの安全のため、遊具の点検状況についてお答えください。



#### 村長

#### 渡邊一弘 議員

村内の各地域に公園が設置され、

幼い子供連れや児童らに利用されているのを見ると喜ばしく思います。しかしピラミッド公園を見るに東屋の屋根はハゲ落ち、ベンチの板が外れ、

とめ釘がむき出ている等、非常に危険な状態でした。

また輪中堤プロムナードの川側の柵が破損し、倒れかけた杭にロープがた

れ下げてありました。早急なる補修を求めます。

現在、公園等の管理は

飛鳥村には都市公園、一般公園、他に輪中堤プロムナード、運動の森公園、児童遊園などの施設が整備されています。

はじめに、遊具の点検については、適用関係法令等を遵守し、社団法人日本公園施設業協会が定めた遊具の安全に関する基準により、利用者が安全に利用できるように点検を行っています。

#### A

果を記載した点検業務報告書に基づいて、業務責任者から状況を聴取し、補修が必要かどうかを判断しています。

その点検結果に基づき、補修が妥当と判断される遊具については、利用者

に事故が起きないように安全対策を行い、補修計画を立てて対処を進めてお

ります。

今後も、公園は憩いの場やコミュニティの場として、地域の皆さんが、快適に利用していただくために、維持管理と整備をしていきます。

点検内容としては、定期点検、日常点検、大腸菌検査などで、指定した月に実施し、作業の結

**Q. 聖苑の庭園の管理は**

どうなっているのか

**A. 今後は景観を良くするよう**

管理に努めていく

**村長**

するよう管理に努めていきます。

**A**

飛鳥聖苑南の庭の手入れ、深夜の移動の際、棺を和室に移動できるよう配慮をとることですが、運営上そのようなことは、想定していませんでしたので、

**渡邊一弘 議員**

**Q**

聖苑について、聖苑南側にある庭の手入れがなされておらず、庭と言うよりも草ボウボウの荒地地状態に等しく非常にさみしく思います。管理不十分だと考えます。平成24年度は除

草作業に24万円、樹木剪定に160万円が計上されていますから使われたと思います。にもかかわらず、なぜあの状態になっているのか。今後の対応をお答えください。

らにしている者は体調を崩しかねません。深夜、棺を和室に移動できる様、対応及び配慮がなされることを望みます。いかがお考えなのかお答えください。

**Q. 避難所の進捗状況は**

**A. 村全体の防災計画等を**

進める上で協議していく

**村長**

画はあるか。

例えば、防災公園、グランド等、現在ある公園、グランド等を10メートルほど高くする、有効的にハイブリット（複合）利用する。

**A**

昨年10月から11月に該当する5地区で説明会を行い、村の計画案をお示ししました。



建設場所の候補地として各地域にある公共用地等の2カ所程度を示し、地域で検討していただくようお願いをしましたが、

**服部康夫 議員**

**Q**

画一的な避難所ではなく、地域に合った避難所をつくる計画

画一的な避難所ではなく、地域に合った避難所をつくる計画では、地域と合意したところから建設することが重要ではないか。



聖苑南側の庭





桑名市長島防災コミュニティセンター

2月末の時点では、3カ所の地域から要望を受けています。他の2カ所については、現在、地域住民と協議しているところ  
です。  
建設する一時避難所の基本的な概要は、集会施設を兼ね備え、防災訓練や防災に関する研修等ができる防災コミュニティ施設を考えていて、建物の形態は各地域一律とし、

規模等は地域にあった規模で建設を予定しています。なお、基本設計を進める上で、4月から地域の皆様とよく検討して使用しやすい一時避難所にすべきであると考えています。  
次に、今後の建設スケジュールにつきましては、平成25年度から国の交付金を受け、3年間で建設を予定していますが、平成25年度は4カ所の基本設計及び実施設計を委託して、そのうちの1カ所を着工する計画であります。また、旧中学校校舎の改築についても平成25年度に予定しています。  
次に、議員の提案されているハイブリット的な避難施設ですが、まずは現在の計画を優先させていただき、今後、村全体の防災計画や事業継続計画等を進める上で協議していきたいと考えていますのでご理解いただきますようお願いいたします。

2/20(水) 支援米の贈呈式

3/28(木) 海部地方消防指令センター開所式



東日本大震災により愛知県内に避難されている全世帯の方々に、今年も飛島村産のお米を1世帯当たり10kg贈呈しました。



弥富市役所十四山支所内に消防指令センターが整備されました。  
これから海部地方の119番は、すべてここに入電し、管轄する消防署に送られます。